

緊急要望書

2011年4月15日

女川町長 安住 宣孝 殿

日本共産党女川町議団

高野 博

阿部律子

連日不眠不休のご努力に心から敬意を表します。一刻も早く役場機能を回復され、住民の負託にこたえられるよう切に希望し、以下要望書を提案します。もちろん国や県に要望することについては、私たちも骨身惜しまず全力で頑張りますので、よろしく願いいたします。

- 1、 町として何らかの仕事を創設し、避難している町民に雇用の確保を。
- 2、 すべての希望者に仮設住宅を保障すること。候補地は住民の情報を活用し、きめ細かに準備すること。
- 3、 町営住宅の入居者を優先して、新しい町営住宅に入居させること。
- 4、 全国自治体職員の支援を仰ぎ、弔慰金、生活支援金の支給を急ぐこと。
- 5、 義援金の支給を急ぐこと。
- 6、 町の見舞金の支給を急ぐこと。
- 7、 災害対策本部として最低週一回・臨時も含めて、記者会見などをして情報を提供すること。
- 8、 罹災証明書など郵送による受け取りができるようにしてほしい。(石巻市では、申請書はホームページからダウンロード、返信用封筒、切手などを同封のうえ住所、氏名などを記入 本人確認の証明書を添付して申請)
- 9、 2億円の役場庁舎については、仮設住宅に入れられない被災民が多い中、住民合意は得られないのではないか。本当の仮設で出発してはどうか。
- 10、 清水地区等停電になっている地区の解消を早急に実施されるよう東北電力に申し入れてほしい。
- 11、 早急に女川町の火葬場を改修し利用させてほしい。
- 12、 復興計画は住民合意で進めること。